

オーディオ南海西田辺店訪問記(2014.3.29)

1. はじめに

オーディオ南海西田辺店の3月21日のイベントで目をつけておいたIPCのアンプを購入しに同店を訪れました。予め音出しをお願いしていましたのでその報告です。

2. 試聴の経過

訪問は十数年ぶりでしたが、写真のとおり、名品、珍品が雑然とならんでいます。Westernの124アンプや555がさりげなく置かれていますし、パラゴンなどは他のスピーカーに埋もれていました。音出しの方は、展示会にも置いてあったタンノイのオートグラフを準備していただいていたました。



入り口はスチューダーのA730、プリアンプはマランツ7、購入を決めたアンプはIPC AM1029です。本来は6L6シングルのモノラルアンプですが、特注のケースに2台を組み込み、1台のステレオアンプとして使えるようにしたもので、球はRCAの6L6がセットされていました。



入り口から出口まで銘機の中に混ざって6L6シングルで大丈夫かなと思わせましたが、アンプの素性としては、ジャズ系かなという予想と違ってすっきりと品の良い音

でオートグラフがきちんと鳴っていました。店主の方が、**6L6** ファミリーでの球の差し替えもできますよとおっしゃって **KT66** でも鳴らしていただきましたが（右上写真）、これはこれでコクのある魅力的な音がしていました。

3. まとめ

IPC AM1029 はシングルアンプながら銘機の中に混ざって予想以上に健闘していると感じましたので、入ってきたらどのように使おうかと思案中です。上記のような球の差し替えも楽しみにとっておきます。

以上